

# KUAJ No.03

Kobe University Architectural Journal 2015



# KUAJ No.03

Kobe University Architectural Journal 2015

## 目次

## ページ

00 建築学科・建築学専攻紹介	01
01 卒業設計	02
02 修士設計	14
03 造形演習 I	23
1. 平面造形	
2. 立体造形	
04 造形演習 II	24
1. 平面造形	
2. 立体造形	
05 設計演習 I	25
1. RC造トレース	
2. 木造住宅トレース	
3. 阪急六甲駅周辺に建つ小事務所	
06 設計演習 II	28
1. 住宅設計	
2. 地域の図書館 – 地域図書館+ ○○○ –	
07 設計演習 III	33
1. 都賀川沿いに建つく子育てスクエア>	
2. 面構造によるメモリアル空間	
08 計画演習 I	39
1. 近畿圏の大学のためのセミナーハウス	
2. 建築のため建築	
09 計画演習 II	46
1. 神戸ウォーターフロント計画	
2. ランドスケープ計画・設計課題	
10 設計演習特論	51
DDR+UD : 減災都市デザイン Disaster Risk Reduction	
11 大学院・計画系学内インターンシップ	56
土地・自然と作用しあう小さい建築	
12 神戸建築学	58
原 広司 「マイクロデュレイションについて」	
團 紀彦 「CHIKEI」	
13 神戸大学×天津大学 国際交流レポート	62
14 建築概論 特別演習	64
15 構造系記事	65
16 環境系記事	66
17 2015年度卒業設計/修士設計題目一覧	67
18 2015年度 卒業研究・修士論文題目一覧	68
2015年度コンペ受賞者一覧	
2015年度デザイン関連演習科目 担当一覧・建築学教室 構成と教育組織	

## 環境との共生、安全で豊かな生活空間の創出

建築学は人間生活の基盤である住宅や建築施設を創造する最も普遍的な学の一つです。人と地球に関わる普遍的課題と先端的課題に応えるためには、「計画」・「構造」・「環境」という建築の基礎的学問領域を修めると同時に、これらを総合して課題に対応する「空間デザイン」の能力が求められます。

建築学科・建築学専攻は、変化する時代に的確に、また、総合的に対応できる人材の養成を目指して、専門性と総合性の結合した教育を行います。

## 構成

### 空間デザイン講座

建築・都市デザイン、住宅・コミュニティデザイン、構造デザイン、建築マネジメントなど、空間創造のための総合的・実践的な教育研究を行います。

### 建築計画・建築史講座

建築史、歴史環境、地域・住宅計画、建築・都市防災と建築計画、都市計画など、デザインの基本的な領域に関する教育研究を行います。

### 構造工学講座

建築構造物の安全性、各種構造物の部材や接合部の力学挙動と構造解析、耐震構造・制振構造などの耐震安全性、性能向上、構造システム等に関する教育研究を行います。

### 環境工学講座

建築物における音、熱、空気、光などの環境の解析と制御及び地域や都市における環境の解析と計画に関する教育研究を行います。

### 地域減災計画

平成17年度から総務省消防研究センターと連携し、地域減災計画の教育研究分野における連携講座が設置されました。都市レベルあるいはコミュニティレベルの災害や犯罪等の危険度を予測し制御する技術を開発するとともに、その情報を共有化し視覚化する支援システムを構築し、さらには環境減災設計 デザイン手法として体系化することを目指し、それらのシステムや手法を具体的な地域空間に適用することによって、安全な地域空間形成をはかる教育研究を行っています。

### 持続的住環境創成(積水ハウス)

自然や社会との共生を基本しながら、安全と安心が維持できる豊かな持続的住環境の創成を目指した建築・住宅デザイン、ランドスケープなど領域横断的な実践的研究を行います。



## Symbiosis of architecture and environment, Creation of safe and comfortable living space

Architecture is eminently universal field of learning, concerning the creation of housing, architectural facilities, - basis of human life. In order to respond to both universal and up-to-date architectural problems, it is necessary not only to study basic fields of architecture (design and planning, structural engineering, environmental

engineering) but also to synthesize them for spatial design problems. Department of architecture, Kobe University aims to produce talent who can correspond synthetically to contemporary architectural challenges by educating with specialty and synthesis.

## Structure and Divisions

### -Spatial Design Division

Synthetic and practical education and research for the creation of space:

Architectural and Urban Design, Housing and Community Design, Structural Engineering and Design Building Management.

### -Architectural Planning, History and Theory Division

Basic education and research of the architectural design:

History and Theory of Architecture, Theory of Historical Environments, Planning Theory of Built Environment, Urban and Architectural Safety Planning.

### -Engineering of Building Structures Division

Education and research for the safety of buildings in the case of earthquakes, improvement of building materials and structural systems:

Structural Performance Engineering, Structural Control in Dynamics, Structural Systems Engineering.

### -Architectural Environmental Engineering Division

Education and research on analysis, control and planning of architectural and urban environment:

Planning of Acoustical and Lighting Environments, Thermal Environmental Planning, Planning of Urban Environment and M & E Services.

### -Disaster Mitigation Planning Division

This division aims to conduct practical research on a system that can respond precisely, and in a practical and effective manner, to natural disasters such as earthquakes and typhoons as well as other emergencies.

### -Sustainable Living Environmental Design(SEKISUI HOUSE)

Sustainable Living Environmental Design Program aims to conduct practical research in the field of architecture, housing design, interior, and landscape design. Main goal of program is to seek creative ways of integrating safe, healthy, sustainable and livable environment with multidisciplinary team members.

## 2015年度 デザイン関連演習科目 担当一覧

	前期		後期	
	造形演習Ⅰ		造形演習Ⅱ	
学部 1年生	平面（15回） 藤原洋次郎 (川崎医療福祉大学教授)	立体（15回） 藤岡智紀 (造形家)	平面（15回） 藤原洋次郎 (川崎医療福祉大学教授)	立体（15回） 藤岡智紀 (造形家)
学部 2年生	設計演習Ⅰ（前半13回／後半15回） 近藤民代（准教授） 栗山尚子（助教） 山口秀文（助教）	北後明彦（教授） 中江 研（准教授） 浅井 保（助教） +構造系	山崎寿一（教授） 近藤民代（准教授） 山口秀文（助教） 山隈直人（神戸山手大学教授） 島田陽（島田陽建築設計事務所）	黒田龍二（教授） 中江 研（准教授） 栗山尚子（助教）
学部 3年生	設計演習Ⅲ（前半20.5回／後半21.5回） 三輪康一（教授） 大西一嘉（准教授） 榎橋 修（准教授） 寺岡宏治（安井建築設計事務所）		計画演習Ⅰ（前半20.5回／後半20.5回） 三輪康一（教授） 末包伸吾（教授） 榎橋 修（准教授）	
学部 4年生	計画演習Ⅱ（前半14.5回／後半27.5回） 所属研究室教員 山口秀文（助教） 栗山尚子（助教）		卒業研究 所属研究室教員 山口秀文（助教） 栗山尚子（助教）	
博士課程 前期過程 1年生	設計演習特論（前半14.5回／後半13.5回） 所属研究室教員 遠藤秀平（教授） 榎橋 修（准教授） 福岡孝則（特命准教授）		学内インターンシップ 岩田章吾（武庫川女子大学教授） 芦澤竜一（滋賀県立大学教授） 遠藤秀平（教授） 榎橋 修（准教授） 福岡孝則（特命准教授）	

## 2015年度 建築学教室 構成と教育組織

講座名	教育研究分野	教授	准教授	助教	助手	技術職員	事務職員
空間デザイン	建築・都市デザイン	遠藤秀平	榎橋 修			高麗憲志 金尾優 橋高康介	橘美保 中原奈央
	住宅・コミュニティ デザイン	末包伸吾 三輪康一		浅井 保 栗山尚子			
	構造デザイン	多賀謙蔵		岸田明子※3			
	建築マネージメント		大谷恭弘 藤永 隆				
建築計画 建築史	建築史・歴史環境論	黒田龍二	中江 研				
	地域・住宅計画	山崎寿一	近藤民代	山口秀文			
	建築・都市安全計画	北後明彦	大西一嘉	アベウ・ビニエイロ			
構造工学	構造性能工学	孫 玉平		竹内 崇			
		田中 剛	難波 尚	浅田勇人			
	構造制御工学	藤谷秀雄	向井洋一	伊藤麻衣※3			
	構造システム工学	谷 明勲	山邊友一郎				
環境工学	音・光環境計画	阪上公博	佐藤逸人	奥園 健			
			鈴木広隆				
	熱・空気環境計画	松下敬幸	高田 晓	中嶋麻起子			
	都市環境・設備計画		竹林英樹				
持続的住環境 創成講座 (積水ハウス)	住環境・ ランドスケープデザイン	團 紀彦※1 城戸崎和佐※1 大谷弘明※1 光嶋裕介※2	福岡孝則	学術推進研究員			
				山本一貴	木上理恵		

※1：客員教授 ※2：客員准教授 ※3：自然科学系先端融合研究環重点研究部

## 編集後記

KUAJ 2015 No.03 は、神戸大学工学研究科建築学専攻・工学部建築学科の 2015 年度の卒業研究・修士論文とデザイン関連演習科目の主な学生作品をまとめたものである。

今回も昨年の KUAJ 2014 No.02 と比べ、ページ数増の 72 ページ、オールカラーとし、より充実させた内容でお届けしております。今年度から新たに学生による神戸建築学の講演会レポートを追加しております。また、昨年に引き続いて天津大学との交流レポートと構造系、環境系の先生方からもご執筆をいただきました。

本編集に関しては編集委員として遠藤研究室をはじめ、多くの学生のみなさんに協力していただきました。特に竹川康平君、森下孝平君には掲載コメントの収集から紙面のレイアウト、各担当者間の調整など全面的に協力していただきました。ここに記して感謝の意を表したいと思います。

(高麗憲志／編集担当)

## KUAJ 2015 No.03

神戸大学大学院工学研究科建築学専攻・工学部建築学科作品集

2016 年 3 月 23 日発行

### 編集担当

教職員：高麗憲志（技術職員）

学生：竹川康平（A63）

森下孝平（A63）

表紙／裏表紙撮影：竹川康平（A63）

発行：神戸大学建築学教室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1

TEL : 078-803-6065 (建築学事務室)

印刷・製本：株式会社 ライブアートブックス

